

白馬村での空間放射線量測定結果について（9月）

《測定日》

平成25年9月25日（水）

《測定方法》

シンチレーションサーベイメータ（日立アロカメディカル社製 TCS-172B）による簡易測定

《測定結果》

測定箇所	測定時刻	天候	測定結果（ $\mu\text{Sv/h}$ ）
白馬村役場 地表	9：17	晴れ	0.06
白馬北小学校校庭 地表	9：45	晴れ	0.08
しろうま保育園砂場 地表	9：50	晴れ	0.07
白馬中学校校庭 地表	10：15	晴れ	0.09
白馬南小学校校庭 地表	11：10	晴れ	0.08
スノーハープメイン会場 地表	11：30	晴れ	0.09
グリーンスポーツの森広場 地表	13：17	曇り	0.09
大出公園広場 地表	13：40	晴れ	0.08
白馬五竜エスカルプラザ付近	10：55	晴れ	0.07
白馬ジャンプ競技場観客席	10：00	晴れ	0.05

今回の測定結果は、健康に影響のない値でした。

（参考）

○国際放射線防護委員会(ICRP)が2007年に示した勧告では、自然放射線及び医療目的の放射線を除き、公衆が1年間に浴びてもよい被曝限度量は1 mSv(ミリシーベルト)/年とされており、1時間当たりの数値（測定値の単位）に換算すると、「0.19 μSv (マイクロシーベルト)/時間(h)」注) となります。

注)

$$[\text{X } \mu\text{Sv} / \text{時間} \times 8 \text{ 時間(屋外)} + \text{X } \mu\text{Sv} / \text{時間} \times 0.4(\text{透過率}) \times 16 \text{ 時間(屋内)}] \times 365 \text{ 日}$$
$$1,000 \mu\text{Sv} / \text{年} = 1 \text{ mSv} / \text{年} \quad \text{X} = 0.19 \mu\text{Sv} / \text{時間}$$

※換算方法は、文部科学省による福島県内の学校における対応基準を参考

○宇宙や大地からの放射線量は、地域によって異なります。たとえばマグマが冷えて固まった花崗岩が多い地域では放射線量が高くなることが知られています。